

## 補聴器トラブル増加中 ご注意ください！

### ★販売購入形態別の主な相談事例★

#### 店舗購入

眼鏡店でオープンキャンペーンとして50万円の補聴器を今なら40万円にする、早めに補聴器をつけないと認知症になると不安をあおられて購入。後日、耳鼻咽喉科で聴力測定したところ、補聴器は必要ないと言われた。

#### 通信販売

誰でも装着可能という補聴器を通信販売で見かけて約8万円で購入。しかし届いた補聴器は耳穴に合わず、返品を申し出たが、不良品ではないので返品は受けられないと断られた。

#### 訪問販売

業者が急に訪ねてきて自宅に上がり込み、補聴器の購入を勧められた。断ろうとしたが断り切れずに契約をしてしまった。書面も渡されていない。

- 聞こえが悪いと感じたら、まず、**耳鼻咽喉科（補聴器相談医）**を受診しましょう
- 補聴器が必要と診断を受けたら、**認定補聴器技能者**がいる販売店、**認定補聴器専門店**に相談しましょう



不審に思ったときは、警察や消費生活総合センターへすぐに相談を！！

消費者ホットライン ☎188(いやや)  
消費生活総合センター ☎256-0800

高齢サポート・朱雀(京都市朱雀地域包括支援センター)

☎075(801)1384 FAX075(801)1385

